

## 令和5年度 芸術科 「音楽Ⅱ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組 選択者
教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)	副教材等	The Basics of Music 2訂版 (教芸) ヴァイオリン (レンタル)

## 1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	劇と音楽	ミュージカル鑑賞  「オペラ座の怪人」  オペラ・アリアの鑑賞	○発声法や歌唱法に興味をもち、自分の声を伸ばすための技能を身につける。  ○劇や物語と音楽の関わりを意識して表現を工夫する。 ○ミュージカル作品を体験する。  ○発声法や原語での歌詞唱に興味・関心をもち、自分の声をさらに伸ばす。 ○オペラの一場面を鑑賞する。	授業への取り組み  鑑賞態度 ワークシート、提出物  実技発表
	5	詩と音楽①	Nel cor piu non mi sento Sehnsucht nach dem Frühlinge	○詩と音楽の関係について追究する。 ○音楽の諸要素とその働きと表現上の効果とのかかわりを理解する。	授業への取り組み 練習経過
		西洋音楽史と鑑賞①	民族音楽の要素および超絶技巧による表現効果 「ツィガーヌ」他	○ロマン派という概念について理解を深める。 ○民族音楽の要素について知る。 ○ロマン派における民族音楽を体験する。	ワークシート、提出物 鑑賞態度
		音楽理論	音程・音階・和音	○和音リズムの構造を知る。 ○音階の性質を知る。	授業への取り組み 鑑賞態度
	6	音楽の構成①	調性	○調性について	提出物
		器楽	ヴァイオリンの基本奏法	○アンサンブルに興味を持ち、楽しみながら表現する。 ○楽器の表現に親しみ、表現の良さを味わう。	授業への取り組み 練習経過 実技発表
	7	表現	コードネームの活用と実践 「ハナミズキ」 「歩いて帰ろう」	○ギターやキーボードを使って弾き語りに挑戦する。  ○コードネームについて理解する。 ○コード進行について探究する。 ○選曲とアンサンブル練習 ○発表	授業への取り組み 練習経過 実技発表 提出物
	8	まとめ		★前期学習の確認	
	9	我が国の伝統芸能	歌舞伎鑑賞 京鹿子娘道成寺	○歌舞伎や歌舞伎音楽について探究する。	授業への取り組み 鑑賞態度 提出物

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後 期	10	創作①	コードネームを活用した旋律づくり	○言葉、リズム、音程の関係を知る。 ○和声音による旋律をつくる。 ○非和声音を含む旋律をつくる。 ○機能と声を理解し、コード進行を考える。 ○詩にメロディーをつける。	授業への取り組み 提出物
	11	詩と音楽②	言葉と音楽の関係を探る 「浜辺の歌」	○詩と音楽の関係について追究する。 ○音楽の諸要素とその働きと表現上の効果とのかかわりを理解する。	授業への取り組み
	12	創作②	オリジナルソングをつくる	個人創作活動 ○詩をつくる。 ○コード進行を使いメロディーをつくる。	授業への取り組み 提出物
	1			グループ活動 ○効果的な演奏発表について考え、表現を工夫する。 ○発表練習  ♪「作品発表会」 ○清書楽譜を作成する	授業への取り組み 練習経過 役割分担と集団への貢献  実技発表 提出物
	2		学年末コンサート	♪"The Final CONCERT" ○演出上の効果を考え、表現を工夫する。 ○イメージをもち、楽器の音色や奏法の特徴を生かした表現を工夫する。 ○感想と意見交換	授業への取り組み 練習経過 役割分担と集団への貢献 実技発表
	3				提出物

### 3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〔共通事項〕イの（ア）（イ）（ウ）について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現（歌唱・器楽・創作）を工夫している。</li> </ul>
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

音楽は、さまざまな表現手段の中でも、互いのコミュニケーションによって形成され、共有できるものです。そして、表現技術の習得や音楽の美しさを感じ取り理解する過程は、知的なものと感じ的なものをつなげ調和を図ります。生徒の皆さんには、授業の中での音楽活動を通じて、ものごとの価値を見出し、自分らしさを発見して欲しいと願っています。そのためには積極的な取り組みが大切です。

皆さんが将来、個性豊かに社会で活躍し、豊かな人生を送ることができるよう、音楽の授業のなかでたくさんの音楽経験を積んでください。